

戦前日本の「グローバリズム」



[戦前日本の「グローバリズム」 下载链接1](#)

著者:井上寿一

出版者:新潮社

出版时间:2011-5-25

装帧:平装

isbn:9784106036781

昭和史の定説が覆る！

一九三〇年代——それは日本が最も世界を知った時代だった。

国際連盟脱退、軍部の政治介入、日中戦争……多くの歴史教科書が「戦争とファシズム」の時代と括る一九三〇年代。だが、位相を少しずらして見てみると、全く違った国家と外交の姿が見えてくる。国際協調に腐心した為政者たち、通商自由化を掲げた経済外交、民族を超えた地域主義を模索する知識人——。新たな戦前像を提示する論考。

作者紹介:

1956年、東京都生まれ。一橋大学社会学部卒業。学習院大学法学部教授。法学博士。専攻は日本政治外交史。主な著書に、『危機のなかの協調外交―日中戦争に至る対外政策の形成と展開―』（山川出版社、吉田茂賞）、『日中戦争下の日本』（講談社選書メチエ）、『昭和史の逆説』（新潮新書）、『山県有朋と明治国家』（NHKブックス）、『吉田茂と昭和史』、『戦前昭和の社会1926―1945』（共に講談社現代新書）。

目録: はじめに

I 章 満州―見捨てられた荒野

1 本土の無関心

松岡洋右の怒り／対「満蒙」経済アプローチ／張作霖に対する評価／「我国の生命線」／幣原喜重郎外相の反論／協調外交と政党政治の高まり

2 現地居留民と関東軍の危機

満洲青年聯盟遊説隊／本土から見捨てられた荒野／張作霖爆殺事件／大陸の在外公館の認識／孤立無援の関東軍／中村震太郎大尉事件

3 満州事変―「満洲」の再発見

事変勃発／領有から独立国家へ／大恐慌の怨嗟の矛先／協調外交のネットワーク／政民協力内閣構想／満州国の建国／「王道楽土」の理想とは裏腹に

II 章 国際連盟脱退とその後―欧州を知る

1 欧州の現実を目の当たりに

国際連盟外交／「五人委員会」それぞれの内情／チェコスロヴァキアと日本／常任理事国としての立場／緊迫するジュネーヴ情勢

2 極東における危機と欧州にとっての危機

リットン調査団の来日／国内外からのテロの脅威／小国への働きかけと大国の意向／メディアの役割／芦田均「非脱退の論理」／脱退問題へ松岡の努力／「失敗した。失敗した。失敗した」

3 欧州諸国との新しい外交関係の模索

その後のジュネーヴ情勢／ドイツとの関わり方／脱退後の欧州外交基軸／ファシズム国家への警戒／海軍軍縮予備交渉／横山正幸の報告／蟬山政道の構想

III 章 国内体制の模範を求めて

1 「挙国一致内閣」の国際的な連動

河合栄治郎の欧米報告／新渡戸稲造の対米広報外交／日米関係、蟬山の結論／近衛文麿のアメリカ印象記／予備交渉決裂が相互理解に／日本の模範国として

2 国家主義のなかの欧米

岡田忠彦の欧米視察／星島二郎がみたナチス党大会／ドイツに傾斜する鳩山一郎／伍堂卓雄の評価修正／失業対策と農村救済策／ヒトラーの下での平等／新しい国家像と生活様式

3 民主主義の再定義

英米協調論者の対独伊接近／斎藤隆夫が説く「中道」／対ファシズム国接近／矢部貞治のヒトラー観／パリでの「デモクラシー」論争／社会大衆党の躍進

IV 章 外交地平の拡大

1 地球の反対側にまで展開する経済外交

誤った日本外交のイメージ／「我国として活くるの途」／アフリカ、中南米、非欧米世界の国へ／「最も遠隔の地」ブラジル／対米関係修復の方策として／バンビー・ミッション／独伊、自給自足圏の壁

2 経済摩擦と国際認識

世界経済のブロック化／相互主義の限界／カナダへ通商擁護法の発動／オーストラリアでの「日本脅威」論／「印度は英国の生命線」／政治の意思で妥協した日蘭会商／包括的通商政策七つの原則

3 地域研究の始まり

東亜経済調査局附属研究所／イスラーム研究の先駆者、大川周明／中国に特化した東亜同文書院／国民の中国理解の促進に

V 章 戦争と国際認識の変容

1 日中戦争と「東亜」の創出

満州国の「門戸開放」／盧溝橋事件／国内の好戦ムード／トラウトマン工作／「国民政府を对手とせず」／中国再認識論／「支那人をもっと知ろう」／中山優と第二次近衛声明／「東亜協同体」論

2 ファシズム国家との対立

日独防共協定／排英運動の高まり／「隔離」演説／ファシズム国へ歩み寄る矢部／蠅山政道の対英協調論／行き過ぎた強硬論／「持てる国」対「持たざる国」／対独伊接近の抑制／「東亜協同体」論の挫折／日中戦争解決のための対米工作／独ソ不可侵条約の影響／大政翼賛会の成立

3 「南洋」との出会い

太平洋委任統治諸島／正当化する矢内原忠雄／丸山義二が感じた対日感情／二つの「南洋」旅行記／企画院直属の東亜研究所／「南進」へと傾けた役割／対「南洋」経済的アプローチ／バタヴィアに派遣された小林一三商相／「大東亜共栄圏」の虚構を指摘する／日独伊三国同盟と日米戦争の接近

おわりに

南方戦線の現実／敗戦の合理化を図った「大東亜宣言」／そして、戦後構想へ

参考文献リスト

あとがき

．．．．． (收起)

[戦前日本の「グローバリズム」_ダウンロード1](#)

标签

日本史

日本

外交史

历史

CaseZ

评论

[戦前日本の「グローバリズム」_ダウンロード1](#)

书评

[戦前日本の「グローバリズム」_ダウンロード1](#)